



謹賀新年

年頭のごあいさつ

「心豊かな和紙の里」をめざし

東秩父村長 足立理助

村民の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より行政の執行にあたり、暖かいご支援ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年は、村の手漉き和紙である「細川紙」がユネスコ無形文化遺産「代表一覧表」への記載が決定され大きな話題となり、千三百年の伝統技術が歴史に刻まれた記念すべき年でありまし

た。細川紙技術者協会の皆さま

にお祝い申し上げますとともに、村民の皆さまのご協力に感謝いたします。これを機会に、大きな期待を寄せる各方面の皆さま方とともに、細川紙の魅力を確認

かなものとするために取り組んでまいります。

また、平成26年個人住民税の現年分納税率が、3カ年度連続で100パーセントを達成し、県知事より特別表彰をいただきました

ました。

槻川小学校では、マスケットキャラクター「つつき」が村民の皆さまのご協力により作成

され、東秩父中学校ではこども議会が開催されるなど、明るい話題のあふれた年でありました。

本年は、和紙の里の公共交通ハブ化構想が実施に向け進みますが、村民の皆さまに、ご理解をいただけるよう、取り組んでまいります。これを機に村民の

皆さまの安全・安心の確保に、より一層努めてまいります。そのためにも、手を取り合って東秩父村を守り抜いてくださった先人の方々や、村の活力となる若者のお力をお借りして、「心豊かな和紙の里」、誰もが希望を持てるような「ふるさとづくり」に取り組んでいく所存です。本年が皆さまにとりまして幸多き年になりますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。

新春を迎え思う

東秩父村議会議長 渡邊均

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

村民の皆さまには、ご健勝にて新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より議会に対しまして暖かいご支援とご協力を賜り、議員一同厚くお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、2月に関東甲信越地方での積雪による自然災害に始まり、8月広島市では74名もの犠牲者と多くの住宅が失われた土砂災害が発生しま

した。また、9月に御嶽山の噴火、10月に台風19号日本列島縦断の被害、11月に長野北部地震

では多くの家屋が倒壊となりました。そして、12月四国北陸地方で雪害と、各地で尊い命が失

われ、自然災害の脅威を思い知る1年でありました。本村においても2月15日の大雪は、萩平地区に3日間もの停電をもたら

し、十数軒の孤立世帯、物置・車庫の倒壊など大きな災害となりました。そんな中、一人の犠

牲者も出すことなく災害を乗り越えることができましたのは、各地域においてたいへん多くの住民の皆さまがそれぞれの立場で

いち早く対応していただいたおかげです。

車道・通学路の除雪、孤立世帯の安否確認、食料品・生活品の提供、重機を使いあるいは自らの手で素早い対応をしていただきました。この場をおかりして、心から敬意と感謝を申し上げます。

本村にとって今年度は、細川紙ユネスコ無形文化遺産とともに和紙の里公共交通ハブ化構想、旧西小学校・ゴルフ場跡地の有効活用等、地方創生事業としての取り組みが重要となる年です。広く住民の皆さまのご意見ご要望を伺いながら国・県に働きかける所存でありますので今後とも更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。皆さまのご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。